



株式会社メガチップス 2026年3月期第2四半期決算説明

https://www.megachips.co.jp/

目

次

1.	2026年3月期第2四半期	業績報告 …	3
2.	2026年3月期 業績予想	• • • • • • • • • • • •	9
3.	中期経営方針 …	••••••	12

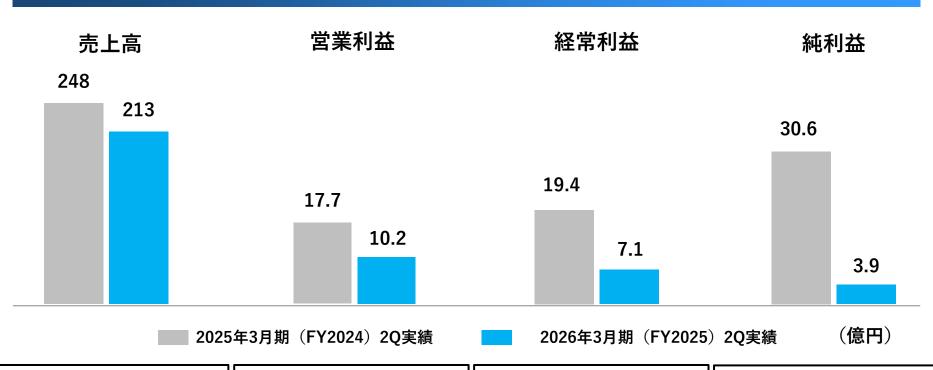
2026年3月期第2四半期 業績報告

連結業績 (P/L) サマリー

(単位:	百万円)	2025/3期 (FY2024) 2Q実績	2026/3期 (FY2025) 2Q実績	前年同期 増減率 (%)	2026/3期 (FY2025) 通期予想数値 (2025/5/14公表)			
	売上高	24,853	21,328	▲ 14.2	42,000			
	売上原価	20,024	17,486	▲12.7				
	販売費及び一般管理費	3,048	2,813	▲7.7				
	営業利益	1,779	1,028	▲ 42.2	3,000			
連結	営業利益率	7.2%	4.8%	_	7.1%			
	経常利益	1,943	710	▲ 63.4	2,700			
	親会社株主に帰属する 当期純利益	3,066	398	▲87.0	4,000			
	1株当たり利益(円)	171.48	24.04	▲86.0	234.33			
	為替レート:米ドル	142.73円	146.04円		130.00円			



連結業績(P/L)詳細



売上高 ▲35.2億円

【対前年度 主な増減理由】 ・アミューズメント事業におい

- てほぼ前年並み(第2四半期 の需要は前年同期を上回る)
- ASIC事業は前年同期比で売 上減となったが、下半期に受 託開発(NRE)売上の増加を 見込んでいる状況

営業利益 ▲7.5億円

【対前年度 主な増減理由】 ・売上減による売上総利益の 減少

経常利益 ▲12.3億円

【対前年度 主な増減理由】

- 営業利益の減少
- ・為替差損などの営業外費用 の増加

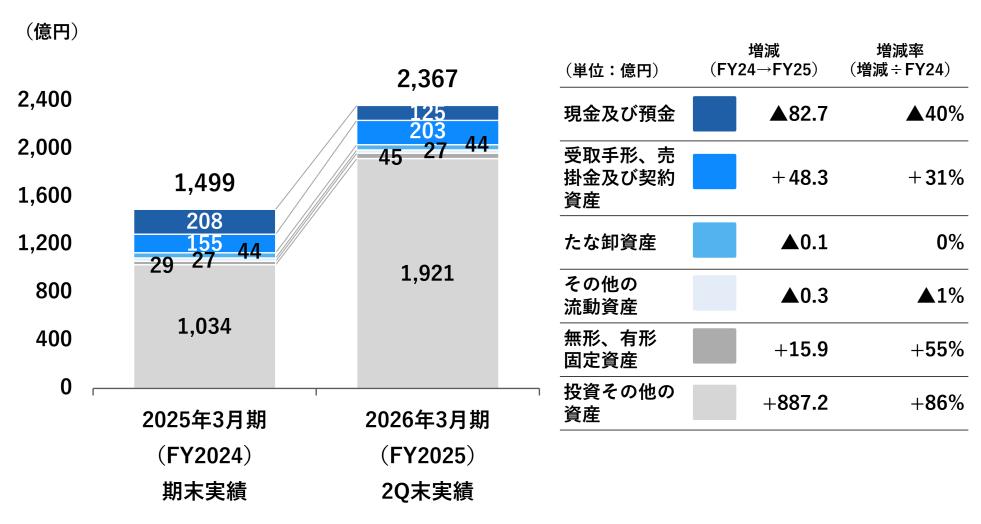
純利益 ▲26.6億円

【対前年度 主な増減理由】

- 経常利益の減少
- ・前年度は、特別利益として SiTime株式売却益を40.3億 円計上

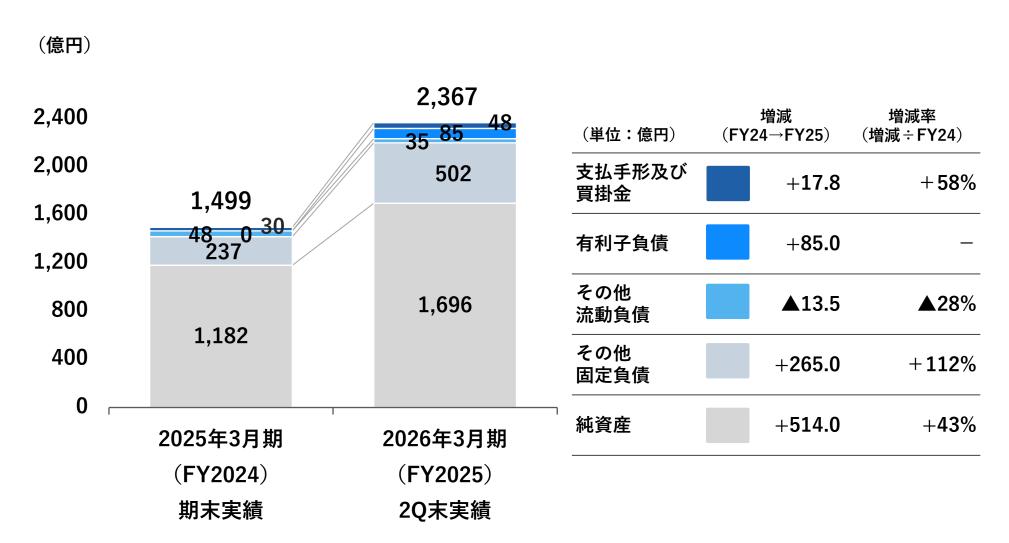


財政状態(資産)



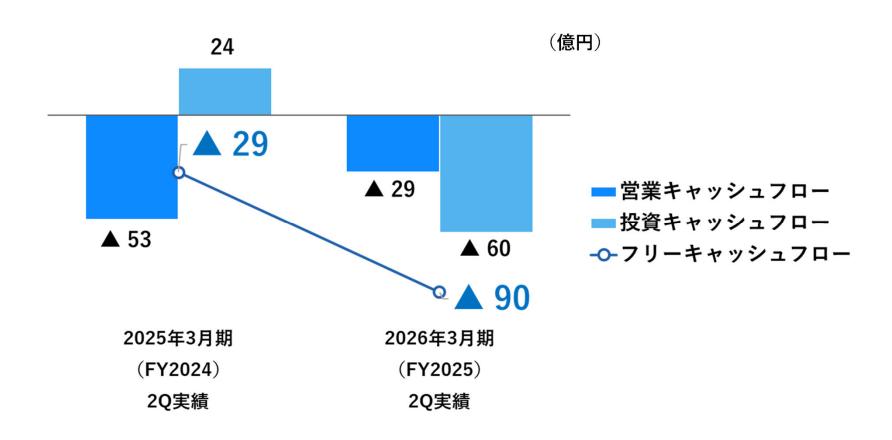


財政状態(負債・純資産)





キャッシュ・フロー



2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

SiTime Corporationの株式を一部売却することによる特別利益の計上を見込んだこと等により、2025年5月14日に公表した2026年3月期連結業績予想値を修正しました。

引き続き、中長期的な増収増益を目指し、既存事業の強化と新規事業の育成を行ってまいります。

(単位:百万円)	2025/3期 (FY2024) 通期実績	2026/3期 (FY2025) 通期予想 (前回)	2026/3期 (FY2025) 通期予想 (今回)
売上高	42,326	42,000	42,000
営業利益	2,190	3,000	3,000
経常利益	2,608	2,700	2,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,371	4,000	9,000
1株利益(円)	306.27	234.33	558.85
	5.2%	7.1%	7.1%
純利益率	12.7%	9.5%	21.4%
為替レート:米ドル	149.52円	130.00円	130.00円

※2025年3月期は、SiTime社株式の一部売却により特別利益として投資有価証券売却益77億円を計上。

※2026年3月期の通期予想には、SiTime社株式の一部売却による投資有価証券売却益を特別利益として、 110億円を見込む。(前回予想の投資有価証券売却益は、35億円を見込んでいた。)



株主還元

FY2025 株主還元

配当予想

210円 /1株当たり

参考:前回予想140円/

前期実績140円

自己株式取得

100億円

実施中

※10/E 時点の取得率69.4%

総還元性向予想:149%

中期経営方針

中長期に目指す姿

事業戦略と財務戦略を両輪とし「2030年度:ROE8%以上」 を達成し、PBR1倍超の早期実現を目指します。

事業戦

略

事業業績の拡大

- ●アミューズメント事業およびASIC事業の事業基盤強化による収益力の拡大。
- ●ASSP事業の育成による黒字事業への転換
- ●事業提携・投資・M&A等による新規ソフトウエア、 ソリューション事業の立ち上げと収益事業への育成

財務戦略

財務の健全性を維持しつつ、資本効率を改善

- ●SiTime株式の計画的な売却。 事業活動で生み出すキャッシュ・フローと併せて、成長投 資の原資とする。
- SiTime株式の売却益を活用して、大幅な増配と、相当規模の自己株取得を計画する。

2030年度目標

事業成長目標

● 収益事業の4本柱(アミューズメント事業、ASIC事業、ASSP事業、ソフトウエア事業)を確立して、売上900億円以上を実現する。

資本収益性向上

● 株主資本の適正化の実現。 政策保有株式の縮減 (SiTime株式の計画的売却 により、2030年度までに 当社の持分比率を5%まで 縮減)。

IRポリシー

≫基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

≫情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えると考えられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えると考えられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。



IRポリシー

≫将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ I R 沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス

財務部

お問い合わせ

https://www.megachips.co.jp/inquiry/contact/

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル

TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886